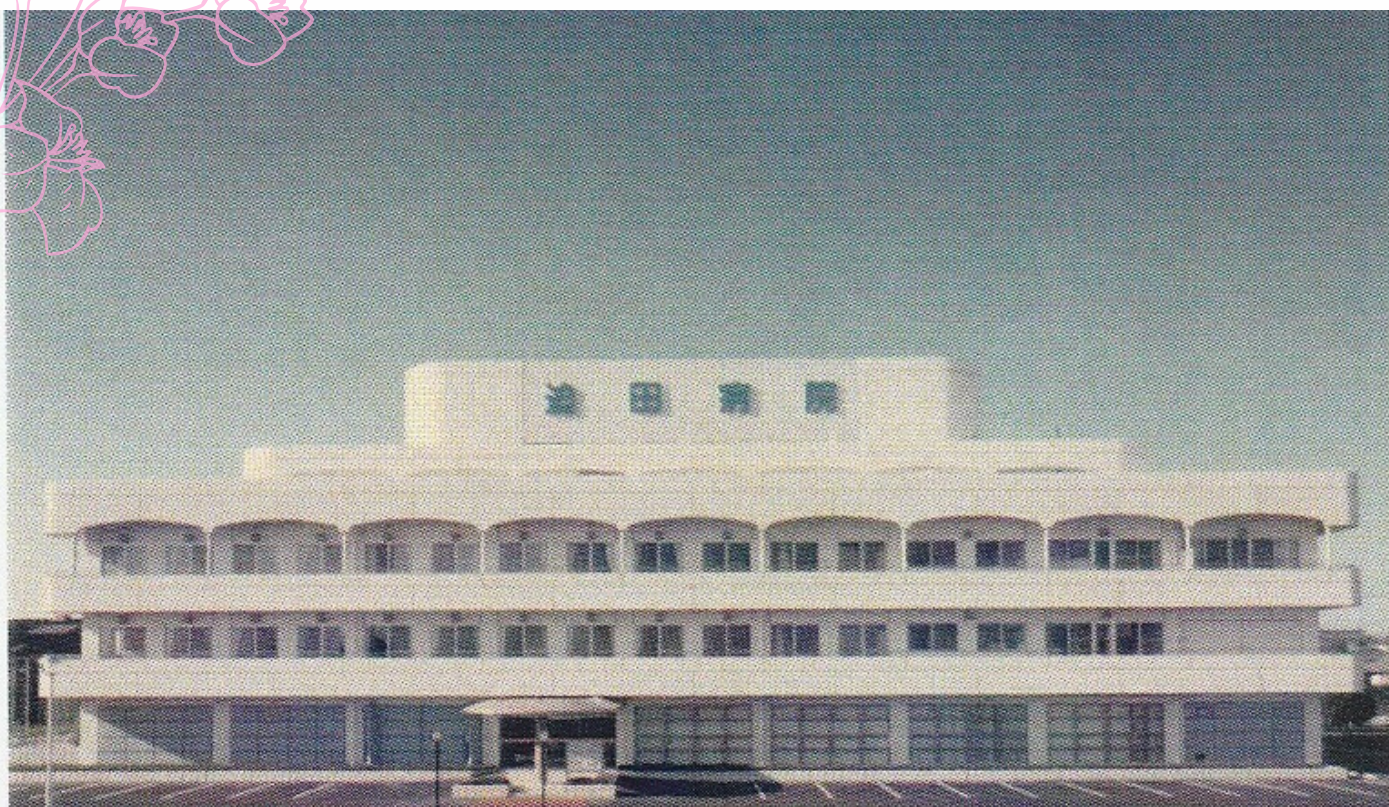




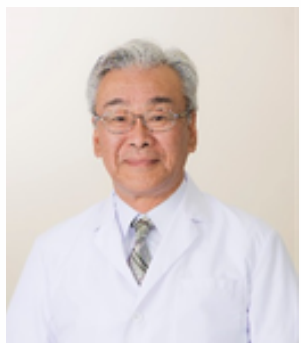
ほす ぴっ 人



1987年10月2日、創業。

NO.300

新入職員を迎えて



迫田 耕一郎

社会医療法人 耕和会
社会福祉法人 耕和会
理事長・院長

今年も新しい仲間を迎えることができました。新しい家族が加わりました。新卒の方もおられます。社会人としてすでに経験を積んで来られた方もおられます。数多くの苦い経験をとおして確かな実力を培ってこられた方もおられます。其々の立場で迫田病院そして耕和会で実力を発揮して下さい。

お願いがあります。

積極的に先輩諸氏へ相談して下さい。

事あるたびに報告・連絡・相談を行って下さい。遠慮は無用です。

そのお役にたてようと今年度、新たな試みがスタートします。

目的は職場環境を改善して働きやすい職場にすることです。

その推進室長に山添みどりさんを任命しました。

この4年間、総看護師長を担っていただき大変ご苦勞をされた人です。

働きやすい職場環境作りを積み残したと言います。

この設置は看護部長や看護師長の業務軽減の意味でもあります。
事務長の業務軽減に事務次長も任命しました。

個人面談とヒアリングの日常化、これが室長のメインの役割です。

年間をとおして万遍なく、計画的に行います。悩み事の相談には随時に応じます。

各部署のパトロールが第2の役割です。

困っている事、足りない事を探して歩きます。

業務のサポートが第3の役割です。

様々な部署でときに人材が不足します。これをバックアップします。

例えば健診担当の看護師が採血に手が回らない場合など、30分程のサポート、
教育担当の看護師が産休で休んでいる期間、欠損する部分の穴埋め等です。

ここに高原町国保病院の再建策を紹介します。

中小企業診断士は再建の柱は以下の3点であると指摘しています。

黒字を出している公的病院に共通する行動を参考にしようと言っています。

1. まず患者さんを断らない
2. そして地域の実情にあわせ、他の病院と柔軟に連携する
3. それで病院・自治体・議会を一枚岩にする

診療報酬の向上につながるの何かということを考える。

職員一人一人が普段から意識する。それを促しています。

患者さんを断らない、地域の実情に合わせて柔軟に連携する。

迫田病院は開業以来、絶えることなくこれを意識し努力してきました。

事あるたびに皆さんにお願いしてきましたが未だ万全ではありません。

なかなか一枚岩になりません。耕和会の大きな課題がここにあります。

最悪は「医師は船団の船頭である」という意識が希薄な医師の存在です。

医師は素晴らしい技術を持っています。その指示をスタッフが実践します。

それがときに空回りし有効にならない場面が有ります。連携のまずさに起因するもの、医師相互の協調性の欠如に起因するものがあります。ギスギスした医師の人間関係もこれに大いに関連しています。

これがやがて組織崩壊につながります。大きなリスクを孕んでいます。

行政や地域との連携や協働、そして9つの事業所の相互連携は上昇傾向です。

しかし、各事業所における部署相互の連携はまだまだの感が残ります。

私達は多職種が協働して働いています。

病院だからそれが必要です。

急性期や救急に対応するためです。

障害を持つ、治せない病を抱える、そんな人々にも対応するからです。

病床を持つ病院の役割は24時間365日、患者さんを受け入れることです。

私たちは「鬼手仏心」を合言葉にしています。

医療が頼りにするツールは科学に裏付けされた技術です。

しかし、それで全てを治せるわけではありません。

外来受付の柱に「鬼手仏心」という標語を掲げてあります。

鬼手とは素晴らしい技術という意味です。

仏心とは慈悲の心という意味です。

素晴らしい技術を慈悲の心を携えて使うという意味です。

人間を救うのはこの両輪です。

高木兼寛は「病気を診ずして病人を見よ」と言いました。

皆様とご家族が健康に支えられ、ますます良いお仕事がなされますように。

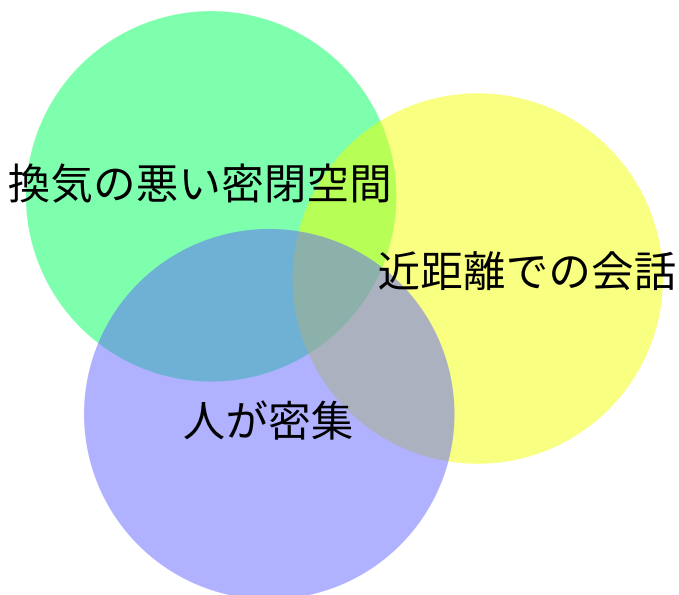
微笑みは最高のお化粧です。

微笑みを絶やさない職場でありたい。そう念じています。





新型コロナウイルス拡散拡大を防ぐ基本原則 条件が重なる場所は室内でも避けて



拡散防止のための7ステップ

1. 頻繁に手を洗う
2. 目・鼻・口に触れない
3. 咳のときは腕かティッシュで口を覆う
4. 密集した場所を避け、熱や咳のある人には近づかない
5. 調子が良くないときは外出しない
6. 熱や咳、呼吸が苦しいなどの症状があるときは、
早めに医療的ケアを受けること ーまずは電話して
7. 信頼できる正確な最新情報を確認する



SOURCE：世界保健機構ウェブサイト
WORLD HEALTH ORGANISATION



すべてを患者さまのために すべてを利用者のみなさまのために
行動目標 | ・良質な地域医療と福祉の提供・堅実経営

社会医療法人
耕和会

〒880-0917
宮崎市城ヶ崎3丁目2番地1

迫田病院
TEL.0985-51-3555 Fax.0985-53-3631

大腸肛門センター
TEL.0985-59-0123

居宅介護支援事業所
宮崎赤江在宅介護支援センター
TEL.0985-51-0116 Fax.0985-52-0171

城ヶ崎訪問看護ステーションなのはな
TEL.0985-51-6800 Fax.0985-51-8877

迫田病院 ほほえみ保育園
TEL/FAX.0985-51-2820

〒889-1601
宮崎市清武町木原5886-16
TEL.0985-84-0333 Fax.0985-84-0700

介護老人保健施設 サンヒルきよたけ

居宅介護支援事業所
サンヒルきよたけ介護支援サービス

訪問リハビリテーションサンヒルきよたけ

サンヒルきよたけ短期入所療養介護
(ショートステイ)

サンヒルきよたけ通所リハビリテーション
(デイケア)

〒889-2162
宮崎市青島4丁目6-3
TEL.0985-65-1122 Fax.0985-65-2110

介護老人保健施設 あおしまのいえ

あおしまのいえ短期入所療養介護
(ショートステイ)

あおしまのいえ通所リハビリテーション
(デイケア)

宮崎赤江地区地域包括支援センター

〒880-0913
宮崎市恒久3丁目30-24
TEL.0985-63-5310 Fax.0985-63-5311

グループホーム 太陽の丘

〒889-1601
宮崎市清武町木原5886-4
TEL.0985-85-8668 Fax.0985-85-8660

特別養護老人ホーム 城ヶ崎小戸の家

〒880-0917
宮崎市城ヶ崎3丁目3番地3
TEL.0985-83-0017 Fax.0985-83-0022



社会医療法人 耕和会 広報誌「ほすぴっ人」第300号 2020年（令和2年）4月1日発行
発行：社会医療法人 耕和会 本部 広報室
〒880-0917 宮崎市城ヶ崎3-2-1
TEL 0985-51-3555（代表）FAX 0985-51-0075 E-Mail : hello@kowakai.jp